

償還 運用報告書（全体版）

第12期 <償還日 2022年5月10日>

D I A M中国A株ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2010年12月30日から2022年5月10日（当初2025年12月16日）までです。	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	D I A M中国A株ファンド	D I A M中国A株マザーファンド受益証券およびD I A M中国株式（除くA株）マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M中国A株マザーファンド	中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の人民元建株式を主要投資対象とします。
	D I A M中国株式（除くA株）マザーファンド	中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国株に投資します。 中国A株の実質組入比率は、原則として通常時には純資産総額70％程度以上を維持することをめざします。 実質的な株式の組入比率は、原則として高位を保つこととします。 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 決算日（原則として12月16日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	
分配方針		

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M中国A株ファンド」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

DIAM中国A株ファンド

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入 比率	株式先物 比率	投資信託、 債券、 証券、 受益証券 投入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落 中 率				
(設定日) 2010年12月30日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	百万円 2,472
1期 (2011年12月16日)	7,480	0	△25.2	85.4	-	0.2	5,272
2期 (2012年12月17日)	8,973	0	20.0	93.6	-	0.8	4,634
3期 (2013年12月16日)	11,162	0	24.4	91.6	-	-	3,395
4期 (2014年12月16日)	15,170	0	35.9	93.0	-	0.3	3,213
5期 (2015年12月16日)	16,117	0	6.2	96.1	-	-	3,287
6期 (2016年12月16日)	13,661	0	△15.2	93.2	-	-	747
7期 (2017年12月18日)	17,470	0	27.9	93.7	-	-	850
8期 (2018年12月17日)	13,753	0	△21.3	86.7	-	-	649
9期 (2019年12月16日)	16,370	0	19.0	94.1	-	-	677
10期 (2020年12月16日)	21,205	0	29.5	87.2	-	-	714
11期 (2021年12月16日)	22,256	0	5.0	-	-	96.8	477
(償還日) 2022年5月10日	(償還価額) 20,382.18	0	△8.4	-	-	-	392

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 証 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2021 年 12 月 16 日	円 22,256	% -		% -	% -	% 96.8
12 月 末	21,866	△1.8		-	-	94.7
2022 年 1 月 末	20,470	△8.0		-	-	95.9
2 月 末	20,847	△6.3		-	-	96.3
3 月 末	20,244	△9.0		-	-	97.2
4 月 末	20,397	△8.4		-	-	-
(償 還 日) 2022 年 5 月 10 日	(償 還 価 額) 20,382.18	△8.4		-	-	-

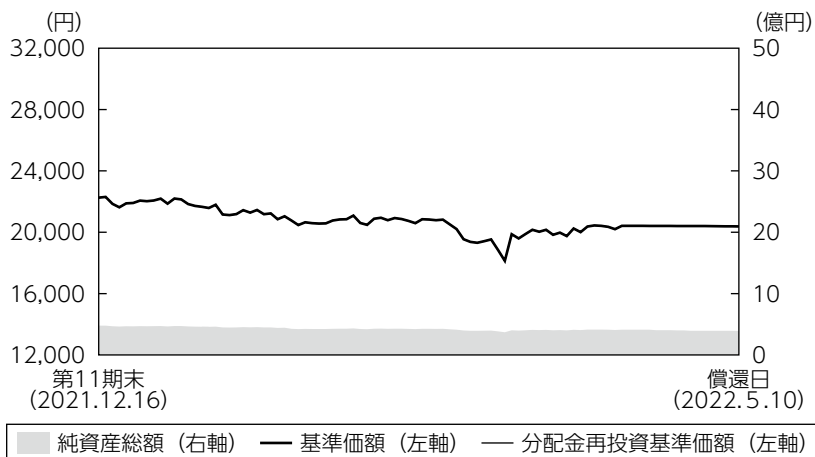
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■設定以来の運用経過（2010年12月30日から2022年5月10日まで）

第12期の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当期は低迷する中国経済への懸念を受けて中国本土の株式市場が下落傾向となり、当ファンドで保有するETF（上場投資信託）の価格が下落したことから、基準価額は下落しました。

設定来では、中国政府の景気に対する姿勢に時折左右され上下を繰り返しつつも中国経済の成長を背景に中国本土の株式市場が長期的に上昇傾向であったこと、為替市場において日本の金融政策が他国と比べて緩和的な水準を維持したことから円安傾向となったこと、各マザーが保有していた銘柄の株価が好業績を背景に上昇したこと等を背景に基準価額は103.8%上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A M中国A株マザーファンド	27.4%
D I A M中国株式（除くA株）マザーファンド	$\triangle 0.0\%$

(注) 組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間（2022年5月9日まで）の騰落率です。

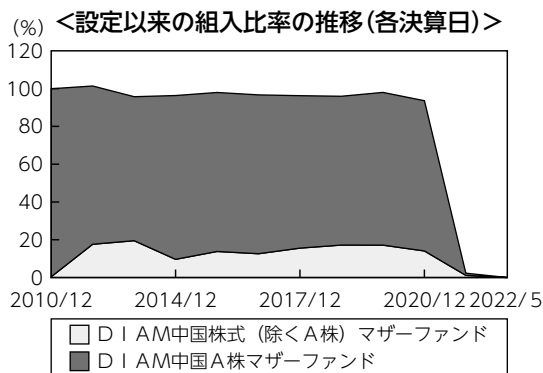
設定来の投資環境

中国・香港の株式市場は2011年は中国政府の金融引き締めが進む中で下落しました。2012年は景気減速を背景に下落基調でしたが、年末にかけて政府が景気刺激の姿勢を見せたことで上昇し、2013～2014年は一進一退で推移しました。2015年は金融緩和や香港と中国本土間の株式市場相互取引の活発化により夏場にかけて急上昇しましたが、政府が投機的な取引を抑制する姿勢を見せると下落に転じ2016年初にかけて弱含みました。2016年は一進一退で推移しましたが、2017年は景気回復を背景に上昇しました。2018年は米中貿易摩擦による景気への懸念から下落しましたが、2019年は回復傾向となりました。2020年は新型コロナウイルスの感染拡大から一時的に下落しましたが、その後の回復を受け上昇しました。2021～2022年5月は景気が回復の一巡から減速に転じたことや産業への各種規制への懸念を受け下落しました。

各マザーファンドの投資対象市場の主要な通貨は人民元と香港ドルですが、運用期間を通じて円/米ドルの動きが主な変動要因となりました。2011～2012年は一進一退の推移でしたが、2013～2015年は安倍政権発足後の日銀の大幅な金融緩和を背景に円安傾向となりました。2016年は米国の金融政策正常化が後ろ倒しとなる観測から円高が一時的に進み、その後は2020年にかけては一進一退の傾向となりました。2021年以降は金融政策における日米間の差を受けて円安が進みました。



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。



(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドでは、2021年10月中旬まではD I A M中国A株マザーファンドが70～90%、D I A M中国株式（除くA株）マザーファンドが10～30%を基本配分比率とし、概ねこの割合となるよう、各マザーファンドの組入れを行いました。2021年10月下旬以降は、2022年5月に予定されている繰上償還に向け各マザーファンドの組入れを手続きに必要な最小限とし、大部分を中国A株指数に連動するE T Fへ投資しました。

●D I A M中国A株マザーファンドおよびD I A M中国株式（除くA株）マザーファンド

銘柄選択については、次世代の中国経済の成長を担っていくと思われるテクノロジー、インターネット、ヘルスケア、環境関連といったセクターに注目し、好業績銘柄への選別投資を行いました。2021年10月以降は償還に向けて株式現物を売却しキャッシュでの保有としました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第12期		項目の概要
	(2021年12月17日 ～2022年5月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	172円	0.830%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は20,703円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(81)	(0.393)	
(販売会社)	(81)	(0.393)	
(受託会社)	(9)	(0.044)	
(b) 売買委託手数料	17	0.081	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(投資信託受益証券)	(17)	(0.081)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用 (保管費用)	10 (10)	0.047 (0.047)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
合計	199	0.960	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

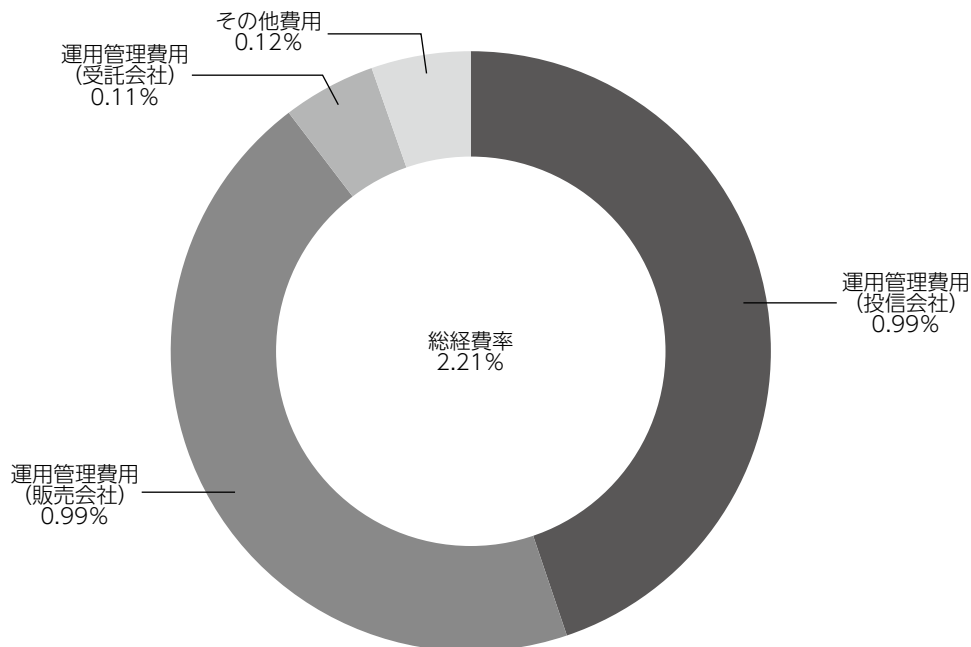
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.21%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2021年12月17日から2022年5月10日まで)

投資信託受益証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ	千□	千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
XTRACKERS HARVEST CSI 300	—	—	81,076	2,707
CHINA A-SHARES ETF	(—)	(—)	(—)	(—)
香港	千□	千香港・ドル	千□	千香港・ドル
CHINAAMC ETF SERIES - CHINAAMC	—	—	102	5,382
CSI 300 INDEX ETF	(—)	(—)	(—)	(—)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年12月17日から2022年5月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
D I A M中国A株マザーファンド	千□	千円	千□	千円
	—	—	2,479	6,918
D I A M中国株式 (除くA株) マザーファンド	—	—	2,969	5,501

■利害関係人との取引状況等 (2021年12月17日から2022年5月10日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。前期末の組入れは以下の通りでした。

(1) 外国投資信託受益証券

銘柄		期首(前期末)	
		□	数
(アメリカ)			千□
XTRACKERS HARVEST CSI 300 CHINA			81.076
小計	□	数	81.076
	銘柄数<比率>		1銘柄<77.2%>
(香港)			千□
CHINAAMC ETF SERIES - CHINAAMC C			102
小計	□	数	102
	銘柄数<比率>		1銘柄<19.6%>
合計	□	数	183.076
	銘柄数<比率>		2銘柄<96.8%>

(注) < >内は、期首（前期末）の純資産総額に対する投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。

(2) 親投資信託残高

	期首(前期末)	
	□	数
		千□
D I A M 中国 A 株 マザーファンド		2,479
D I A M 中国株式（除く A 株）マザーファンド		2,969

■投資信託財産の構成

2022年5月10日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 396,572	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	396,572	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月10日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	396,572,652円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	396,572,652
(B) 負 債	3,699,352
未 払 解 約 金	147,729
未 払 信 託 報 酬	3,551,462
未 払 利 息	161
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	392,873,300
元 本	192,753,308
償 還 差 損 益 金	200,119,992
(D) 受 益 権 総 口 数	192,753,308口
1万口当たり償還価額(C/D)	20,382円18銭

(注) 期首における元本額は214,590,950円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は21,837,642円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月17日 至2022年5月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,996,342円
受 取 配 当 金	3,002,343
受 取 利 息	22
支 払 利 息	△6,023
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△35,412,703
売 買 益	43,997,659
売 買 損	△79,410,362
(C) 信 託 報 酬 等	△3,705,695
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△36,122,056
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	101,367,426
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	134,874,622
(配 当 等 相 当 額)	(110,235,775)
(売 買 損 益 相 当 額)	(24,638,847)
(G) 合 計(D+E+F)	200,119,992
償 還 差 損 益 金(G)	200,119,992

(注1) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年12月30日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年5月10日			資産総額	396,572,652円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は 追加信託	負債総額	3,699,352円	
				純資産総額	392,873,300円	
受益権口数	2,472,595,982口	192,753,308口	△2,279,842,674口	受益権口数	192,753,308口	
元本額	2,472,595,982円	192,753,308円	△2,279,842,674円	1万口当たり償還金	20,382円18銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	7,048,060,950円	5,272,234,236円	7,480円	0円	0.00%	
第2期	5,164,629,536	4,634,329,320	8,973	0	0.00	
第3期	3,042,215,376	3,395,649,168	11,162	0	0.00	
第4期	2,118,615,685	3,213,887,987	15,170	0	0.00	
第5期	2,040,014,187	3,287,825,660	16,117	0	0.00	
第6期	547,488,596	747,927,389	13,661	0	0.00	
第7期	486,836,774	850,501,755	17,470	0	0.00	
第8期	472,546,865	649,913,977	13,753	0	0.00	
第9期	413,878,121	677,508,530	16,370	0	0.00	
第10期	336,792,707	714,176,104	21,205	0	0.00	
第11期	214,590,950	477,597,506	22,256	0	0.00	

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	20,382円18銭
----------------	------------

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは取扱販売会社までお問い合わせ下さい。

DIAM中国A株マザーファンド

償還 運用報告書

(償還日 2022年5月9日)

この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。ここに運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2010年12月30日から2022年5月9日（当初無期限）までです。
運用方針	中長期的な信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
主要投資対象	中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の人民元建株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入率 比	株式先物率 比	投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率	純資産額 総
	期騰落	中率				
(設定日) 2010年12月30日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 2,460
1期 (2011年12月16日)	7,541	△24.6	94.0	-	-	4,377
2期 (2012年12月17日)	8,885	17.8	95.3	-	-	3,882
3期 (2013年12月16日)	11,197	26.0	98.4	-	-	2,588
4期 (2014年12月16日)	15,706	40.3	97.4	-	-	2,786
5期 (2015年12月16日)	17,324	10.3	98.1	-	-	2,766
6期 (2016年12月16日)	14,614	△15.6	96.0	-	-	628
7期 (2017年12月18日)	19,008	30.1	97.3	-	-	686
8期 (2018年12月17日)	14,955	△21.3	89.3	-	-	512
9期 (2019年12月16日)	18,577	24.2	95.5	-	-	547
10期 (2020年12月16日)	25,217	35.7	92.4	-	-	567
11期 (2021年12月16日)	21,897	△13.2	-	-	-	5
(償還日) 2022年5月9日	(償還価額) 27,903.73	27.4	-	-	-	4

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

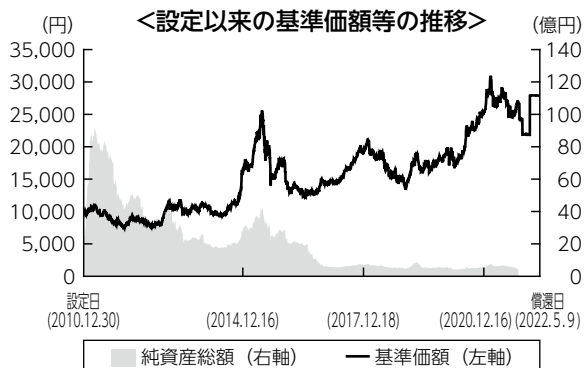
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 証 比 率
	騰 落 率				
(期 首) 2021 年 12 月 16 日	円 21,897	% -	% -	% -	% -
12 月 末	21,896	△0.0	-	-	-
2022 年 1 月 末	21,844	△0.2	-	-	-
2 月 末	27,920	27.5	-	-	-
3 月 末	27,919	27.5	-	-	-
4 月 末	27,904	27.4	-	-	-
(償還日) 2022 年 5 月 9 日	(償還価額) 27,903.73	27.4	-	-	-

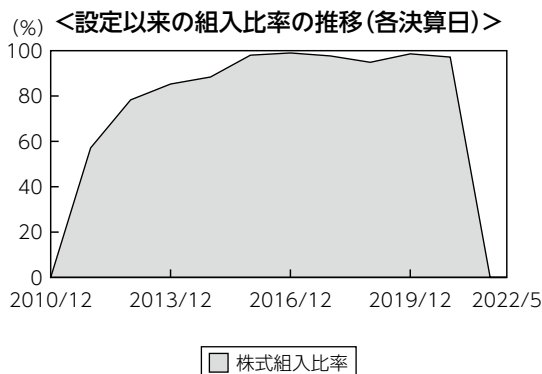
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■設定以来の運用経過（2010年12月30日から2022年5月9日まで）



（注）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。



（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

基準価額の推移

償還価額は27,903.73円となり、設定来で179.0%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当期は、当ファンドの償還に向けて期を通じてキャッシュでの資産保有となり、従前に保有していた銘柄の配当金の受け入れや費用の支払いといった資金の出入りなどが基準価額の変動要因となりました。

設定来では、中国政府の景気に対する姿勢に時折左右され上下を繰り返しつつも中国経済の成長を背景に中国本土株式市場が長期的に上昇傾向であったこと、為替市場において日本の金融政策が他国と比べて緩和的な水準を維持したことから円安傾向となったこと、保有していた銘柄の株価が好業績を背景に上昇したこと等を背景に基準価額は上昇しました。

設定来の投資環境

中国本土の株式市場は2011年は中国政府の金融引き締めが進む中で下落しました。2012年は景気減速を背景に下落基調でしたが、年末にかけて政府が景気刺激の姿勢を見せたことで上昇し、2013～2014年は一進一退で推移しました。2015年は金融緩和や香港と中国本土間の株式市場相互取引の活発化により夏場にかけて急上昇しましたが、政府が投機的な取引を抑制する姿勢を見せると下落に転じ2016年初にかけて弱含みしました。2016年は一進一退で推移しましたが、2017年は景気回復を背景に上昇しました。2018年は米中貿易摩擦による景気への懸念から下落しましたが、2019年は回復傾向となりました。2020年は新型コロナウイルスの感染拡大から一時的に下落しましたが、その後の回復を受け上昇しました。2021～2022年5月は景気が回復の一巡から減速に転じたことや産業への各種規制への懸念を受け下落しました。

投資対象市場の主要な通貨は人民元ですが、運用期間を通じて円／米ドルの動きが主な変動要因となりました。2011～2012年は一進一退の推移でしたが、2013～2015年は安倍政権発足後の日銀の大幅な金融緩和を背景に円安傾向となりました。2016年は米国の金融政策正常化が後ろ倒しとなる観測から円高が一時的に進み、その後は2020年にかけては一進一退の傾向となりました。2021年以降は金融政策における日米間の差を受けて円安が進みました。

設定来のポートフォリオについて

銘柄選択については、次世代の中国経済の成長を担っていくと思われるテクノロジー、インターネット、ヘルスケア、環境関連といったセクターに注目し、好業績銘柄への選別投資を行いました。2021年10月以降は償還に向けて株式現物を売却しキャッシュでの保有としました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) その他費用 (保管費用)	207円 (207)	0.807% (0.807)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
合 計	207	0.807	
期中の平均基準価額は25,680円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年12月17日から2022年5月9日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

有価証券は前期中に全て売却し、償還時における組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年5月9日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 4,918	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月9日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	4,918,509円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,918,509
(B) 負 債	2
未 払 利 息	2
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	4,918,507
元 本	1,762,670
償 還 差 損 益 金	3,155,837
(D) 受 益 権 総 口 数	1,762,670口
1万口当たり償還価額(C/D)	27,903円73銭

(注1) 期首元本額 2,479,003円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 716,333円

(注2) 期末における元本の内訳
D I A M中国A株ファンド 1,762,670円
期末元本合計 1,762,670円

■損益の状況

当期 自2021年12月17日 至2022年5月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,536,991円
受 取 利 息	27,372
そ の 他 収 益 金	1,509,855
支 払 利 息	△236
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△1,249
売 買 益	1
売 買 損	△1,250
(C) そ の 他 費 用	△45,431
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,490,311
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,949,193
(F) 解 約 差 損 益 金	△1,283,667
(G) 合 計(D+E+F)	3,155,837
償 還 差 損 益 金(G)	3,155,837

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

D I A M中国株式（除くA株）マザーファンド

償還 運用報告書

（償還日 2022年5月9日）

この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。ここに運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2010年12月30日から2022年5月9日（当初無期限）までです。
運用方針	中長期的な信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
主要投資対象	中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入率 比	株式先物率 比	投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率	純資産額 総
	期騰落 率	中 率				
（設定日） 2010年12月30日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 10
1期（2011年12月16日）	7,328	△26.7	57.1	-	1.2	684
2期（2012年12月17日）	9,174	25.2	78.3	-	4.6	815
3期（2013年12月16日）	11,998	30.8	85.3	-	-	662
4期（2014年12月16日）	14,608	21.8	88.4	-	2.8	309
5期（2015年12月16日）	12,906	△11.7	98.0	-	-	453
6期（2016年12月16日）	12,900	△0.0	99.0	-	-	94
7期（2017年12月18日）	18,092	40.2	97.7	-	-	132
8期（2018年12月17日）	15,136	△16.3	94.9	-	-	111
9期（2019年12月16日）	17,125	13.1	98.6	-	-	116
10期（2020年12月16日）	19,819	15.7	97.2	-	-	100
11期（2021年12月16日）	18,524	△6.5	-	-	-	5
（償還日） 2022年5月9日	（償還価額） 18,523.19	△0.0	-	-	-	4

（注1）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

（注2）株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注3）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

（注4）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 証 比 率
	騰 落 率				
(期 首) 2021 年 12 月 16 日	円 18,524	% -	% -	% -	% -
12 月 末	18,524	0.0	-	-	-
2022 年 1 月 末	18,524	0.0	-	-	-
2 月 末	18,524	0.0	-	-	-
3 月 末	18,523	△0.0	-	-	-
4 月 末	18,523	△0.0	-	-	-
(償還日) 2022 年 5 月 9 日	(償還価額) 18,523.19	△0.0	-	-	-

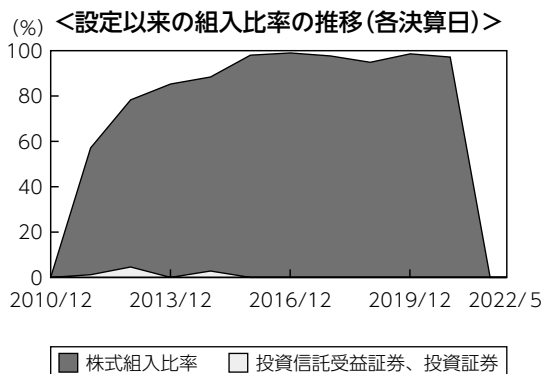
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■設定以来の運用経過（2010年12月30日から2022年5月9日まで）



（注）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。



（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

基準価額の推移

償還価額は18,523.19円となり、設定来で85.2%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当期は、当ファンドの償還に向けて期を通じてキャッシュでの資産保有となり、従前に保有していた銘柄の配当金の受け入れや費用の支払いといった資金の出入りなどが基準価額の変動要因となりました。

設定来では、中国政府の景気に対する姿勢に時折左右され上下を繰り返しつつも中国経済の成長を背景に中国・香港株式市場が長期的に上昇傾向であったこと、為替市場において日本の金融政策が他国と比べて緩和的な水準を維持したことから円安傾向となったこと、保有していた銘柄の株価が好業績を背景に上昇したこと等を背景に基準価額は上昇しました。

設定来の投資環境

中国・香港の株式市場は2011年は中国政府の金融引き締めが進む中で下落しました。2012年は景気減速を背景に下落基調でしたが、年末にかけて政府が景気刺激の姿勢を見せたことで上昇し、2013～2014年は一進一退で推移しました。2015年は金融緩和や香港と中国本土間の株式市場相互取引の活発化により夏場にかけて急上昇しましたが、政府が投機的な取引を抑制する姿勢を見せると下落に転じ2016年初にかけて弱含みしました。2016年は一進一退で推移しましたが、2017年は景気回復を背景に上昇しました。2018年は米中貿易摩擦による景気への懸念から下落しましたが、2019年は回復傾向となりました。2020年は新型コロナウイルスの感染拡大から一時的に下落しましたが、その後の回復を受け上昇しました。2021～2022年5月は景気が回復の一巡から減速に転じたことや産業への各種規制への懸念を受け下落しました。

投資対象市場の主要な通貨は香港ドルですが、運用期間を通じて円／米ドルの動きが主な変動要因となりました。2011～2012年は一進一退の推移でしたが、2013～2015年は安倍政権発足後の日銀の大幅な金融緩和を背景に円安傾向となりました。2016年は米国の金融政策正常化が後ろ倒しとなる観測から円高が一時的に進み、その後は2020年にかけては一進一退の傾向となりました。2021年以降は金融政策における日米間の差を受けて円安が進みました。

■ 設定来のポートフォリオについて

銘柄選択については、次世代の中国経済の成長を担っていくと思われるテクノロジー、インターネット、ヘルスケア、環境関連といったセクターに注目し、好業績銘柄への選別投資を行いました。2021年10月以降は償還に向けて株式現物を売却しキャッシュでの保有としました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年12月17日から2022年5月9日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

有価証券は前期中に全て売却し、償還時における組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年5月9日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 4,001	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,001	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月9日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	4,001,304円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,001,304
(B) 負 債	2
未 払 利 息	2
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	4,001,302
元 本	2,160,158
償 還 差 損 益 金	1,841,144
(D) 受 益 権 総 口 数	2,160,158口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C/D)	18,523円19銭

(注1) 期首元本額 2,969,919円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 809,761円

(注2) 期末における元本の内訳
D I A M中国A株ファンド 2,160,158円
期末元本合計 2,160,158円

■損益の状況

当期 自2021年12月17日 至2022年5月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△212円
受 取 利 息	9
支 払 利 息	△221
(B) 当 期 損 益 金(A)	△212
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	2,531,595
(D) 解 約 差 損 益 金	△690,239
(E) 合 計(B+C+D)	1,841,144
償 還 差 損 益 金(E)	1,841,144

(注) (D)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。